

アニメ脚本と脚本家のデータベース構築

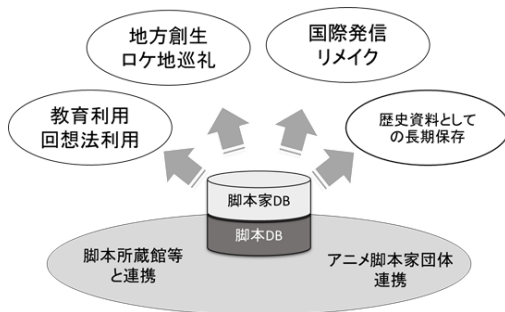
一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム

概要

- ①アニメ（特撮作品を含む）脚本等の現物に関する事業
 - ・アニメ脚本の収集と共に、書誌データの整理を行う。
 - ・全国に分散保存されるアニメ脚本資料等の所在のヒアリングを行い情報交換を行う。
- ②アニメ脚本資料の劣化・消滅防止に関する事業
 - ・劣化した脚本等のデジタル化を実施
 - ・アニメ脚本家へのオーラルヒストリーを行い、収録済の動画をYouTubeを經由して公開。
- ③アニメ脚本データベース構築・発信準備事業 <http://animedb.nkac.or.jp/>
 - ・脚本のあらすじ・作品紹介を作成。英訳のデータも作成する。
 - ・収集した証言を書誌データ（作品）と紐付け、注釈を添付し公開を検討する。
 - ・全国に分散所蔵されたアニメ脚本について、ヒアリングを行いつつ統合検索サイトを検討。
 - ・地域資料としてPDFやエクセルシートで管理する各館の書誌統合を目指し、データ統一化の検討を継続実施。
 - ・脚本家の著作権管理等の所属先、筆名の統一を図り、プロフィールを作成。
 - ・アニメ脚本創作などの、子どもやシニアに向けたワークショップ事業を検討する。

体制／手法

※研究調査の協力団体：日本放送作家協会
 國學院大學、早稲田大学、同志社大学
 デジタルアーカイブズ学会等



成果

（成果物）

- ・「脚本と脚本家のデータベース」の構築

（公開方法）

- ・HPにて「脚本と脚本家のデータベース」を公開（上図） <http://animedb.nkac.or.jp/>

（残された課題）

- ・現物を寄贈し公開する場所の確保。
- ・寄贈された絵コンテなど脚本以外の資料の保管場助や活用方法について関連機関へのヒアリング。
- ・関連資料所蔵機関と共に、書誌データ内容についての検討会の実施。
- ・分散する資料の統合検索サイトの実現に向け、理解を共有するヒアリングを継続実施。

（文化的・社会的・経済的な意義）

- 作品にたどり着く道しるべとして、関連資料保存期間との連携強化（文化的意義）
- 災害、疾病流行等の緊急事態時における資料利用として（文化的・社会的意義）
- 地方への誘致として（地方創生の効果）
- 映像作品の販売につながる経済効果として（経済的効果）
- 子どものコミュニケーション教育活用として（文化・社会的活用）
- 高齢者などの一般利用者の思い出の共有としての「回想法」試行による活用として（社会的活用）
- JACCサーチとの連携（国際発信による経済的意義）
- ジャパンサーチとの連携（社会的・国際的活用） <https://jpsearch.go.jp/database/jaccs>

